

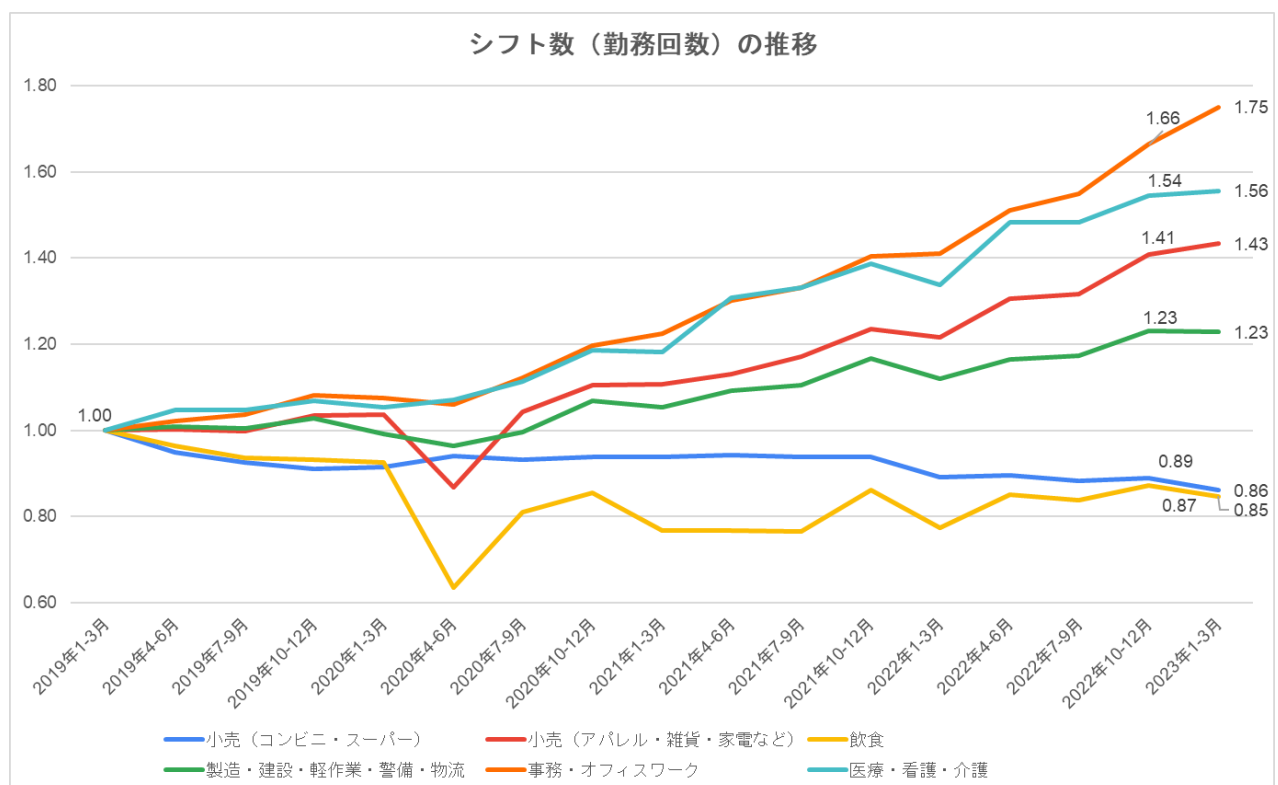
アルバイト・パートスタッフのシフト動向調査－業種別－ シフト管理・給与計算アプリ『シフトボード』活用状況にみる労働実態 2023年1-3月時点

- ◆ シフト数（勤務回数）とシフト人数（スタッフ数）の指数は多くの業種で新型コロナウイルス感染拡大前と比較して増加傾向。一番の伸びは「事務・オフィスワーク」で、次に「医療・看護・介護」が続く。**Web・IT** 関連職種やコールセンター、介護職での需要増加が影響。「小売（コンビニ・スーパー）」と「飲食」は前回調査時の**2022年10-12月**に引き続き、いずれもコロナ前を下回る
- ◆ 一人当たりの月間労働時間は高止まりの傾向も、**6業種全てで2022年10-12月比減少**。年末の繁忙期需要が一服した影響と思われる

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）は、シフト管理・給与計算アプリ『シフトボード』ユーザーの活用状況から、アルバイト・パートスタッフのシフト数（勤務回数）、シフト人数（スタッフ数）、および一人当たりの月間労働時間について調査しました。

「小売（コンビニ・スーパー）」「小売（アパレル・雑貨・家電など）」「飲食」「製造・建設・軽作業・警備・物流」「事務・オフィスワーク」「医療・看護・介護」の6業種における、新型コロナウイルスの感染拡大前の2019年1月から2023年3月までの推移データを発表致します。

1. シフト数（勤務回数）の推移（指数：2019年1-3月の合計を1.0とする）



2023年6月16日

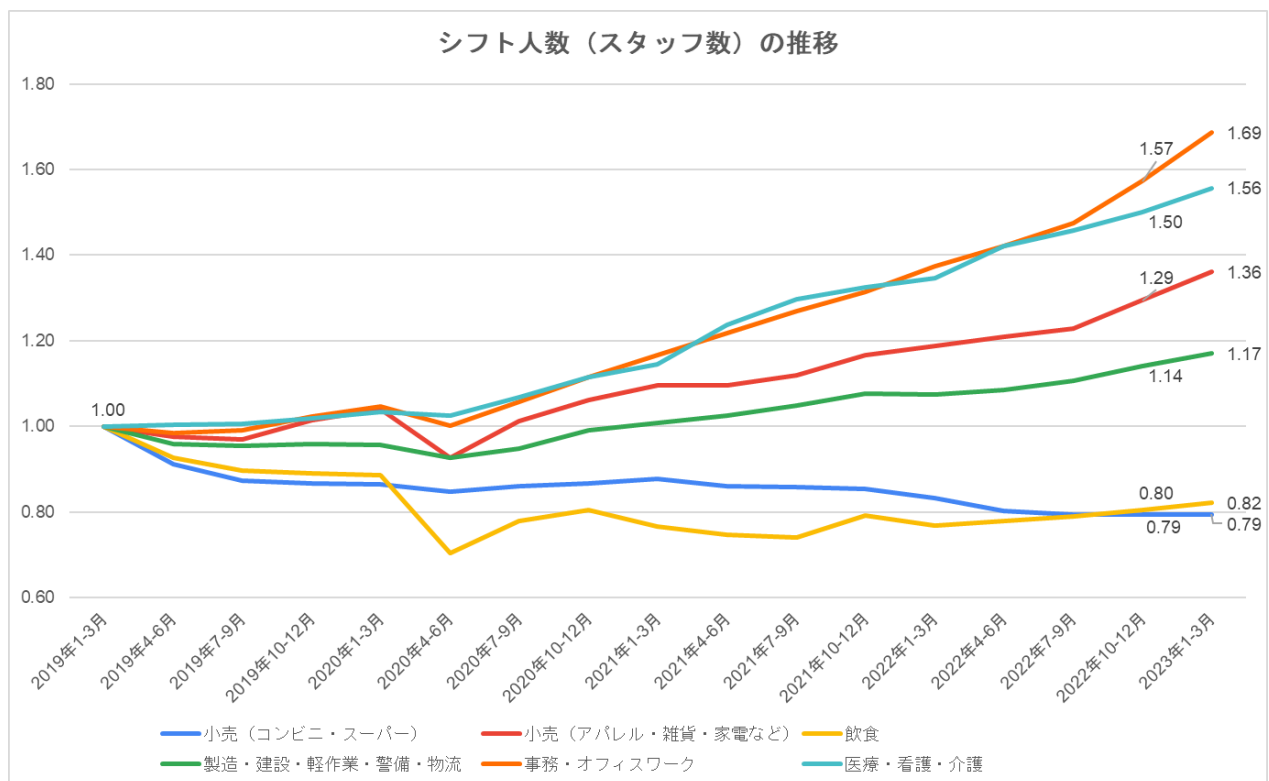
■ 2023年1-3月のシフト数（勤務回数）の推移（指数）

業種	2019年1-3月比	2022年10-12月比
小売（コンビニ・スーパー）	0.86	0.97
小売（アパレル・雑貨・家電など）	1.43	1.02
飲食	0.85	0.97
製造・建設・軽作業・警備・物流	1.23	1.00
事務・オフィスワーク	1.75	1.05
医療・看護・介護	1.56	1.01

■ データ定義

- 『シフトボード』ユーザーのシフト数（勤務回数）について、業種ごとに集計。2019年1-3月の合計を1.0として指数化し、シフト数がどのように増減しているか四半期ごとの推移を比較した。
- 集計対象件数：約18万件
注) 『シフトボード』の登録ユーザー数の増減バイアスを取り除くため、2019年1月から2023年3月まで登録し続けているユーザーに限定して抜き出し、推移を追っている。
- 対象地域：全国

2. シフト人数（スタッフ数）の推移（指数：2019年1-3月の合計を1.0とする）



2023年6月16日

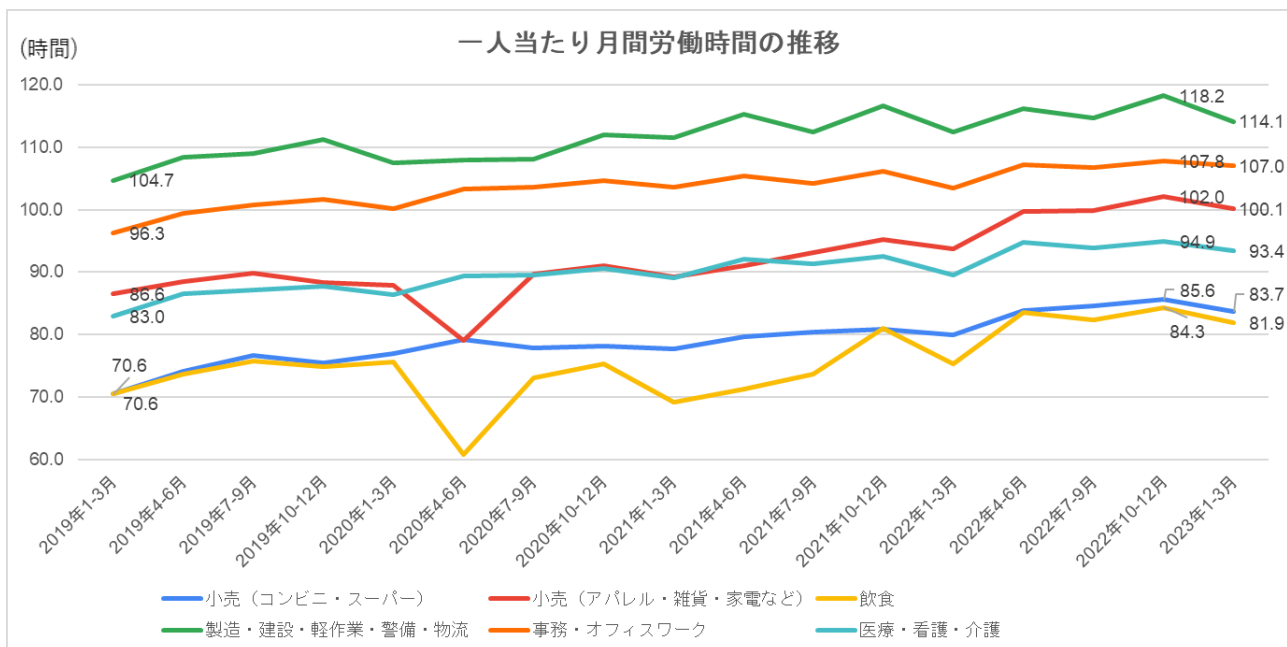
■ 2023年1-3月のシフト人数（スタッフ数）の推移（指数）

業種	2019年1-3月比	2022年10-12月比
小売（コンビニ・スーパー）	0.79	1.00
小売（アパレル・雑貨・家電など）	1.36	1.05
飲食	0.82	1.02
製造・建設・軽作業・警備・物流	1.17	1.03
事務・オフィスワーク	1.69	1.07
医療・看護・介護	1.56	1.04

■ データ定義

- ▶ 『シフトボード』ユーザーが登録する勤務先のシフト人数（スタッフ数）について、業種ごとに集計。2019年1-3月の合計を1.0として指数化し、シフト人数（スタッフ数）が業種間でどのように変動（移動）しているか四半期ごとの推移を比較した。
- ▶ 集計対象件数：約18万件
注）『シフトボード』の登録ユーザー数の増減バイアスを取り除くため、2019年1月から2023年3月まで登録し続けているユーザーに限定して抜き出し、推移を追っている。
- ▶ 対象地域：全国

3. 一人当たり月間労働時間の推移（単位：時間）



2023年6月16日

■ 2023年1-3月の一人当たり月間労働時間の推移（単位：時間）

業種	2023年 1-3月	2019年 1-3月比増減		2022年 10-12月比増減	
		時間	増減率	時間	増減率
小売（コンビニ・スーパー）	83.7	+13.1	+18.6%	-2.0	-2.3%
小売（アパレル・雑貨・家電など）	100.1	+13.5	+15.6%	-1.9	-1.9%
飲食	81.9	+11.3	+16.0%	-2.4	-2.8%
製造・建設・軽作業・警備・物流	114.1	+9.4	+9.0%	-4.1	-3.5%
事務・オフィスワーク	107.0	+10.7	+11.1%	-0.8	-0.7%
医療・看護・介護	93.4	+10.4	+12.6%	-1.6	-1.6%

■ データ定義

- ▶ 『シフトボード』ユーザー一人当たりの3か月ごとの月間平均労働時間を算出。
- ▶ 集計対象件数：約18万件
注) 『シフトボード』の登録ユーザー数の増減バイアスを取り除くため、2019年1月から2023年3月まで登録し続けているユーザーに限定して抜き出し、推移を追っている。
- ▶ 対象地域：全国

4. データの解説



沓水 佑樹（くつみず ゆうき）※ご取材可能
株式会社リクルート Labor プロダクトマネジメントユニット長
『Airシフト』『シフトボード』プロダクト担当者

2023年1-3月のシフト数およびシフト人数は、「小売（アパレル・雑貨・家電など）」「製造・建設・軽作業・警備・物流」「事務・オフィスワーク」「医療・看護・介護」の4業種で新型コロナウイルス感染拡大前の2019年1-3月を上回り、「小売（コンビニ・スーパー）」「飲食」の2業種で下回りました。この傾向は前回（2022年10-12月時点）と変わりません。

2019年1-3月比で一番伸びているのは「事務・オフィスワーク」のシフト数1.75、シフト人数1.69です。昨今のWeb・IT関連職種やコールセンターにおける人材需要の高まりなどが同業種の伸びを下支えしているとみています。また、「医療・看護・介護」もシフト数1.56、シフト人数1.56と二番目の伸びで、こちらは慢性的な人手不足である介護の現場でのエッセンシャルワーカーの底堅い需要が背景にあると考えています。一方で飲食業においては、2020年4-6月を底としてシフト人数は徐々に増えてきているものの、コロナ禍の行動制限の影響を受けて他業種に移動したスタッフがまだ完全には戻り切っていないことが当該データから読み取れます。

一人当たりの月間労働時間については、2023年1-3月は6業種全てにおいてコロナ前の2019年1-3月比で約10~20%増加する一方で、2022年10-12月比では6業種全てにおいて減少しています。これは各業種で年末の繁忙期需要が一服した影響とみていますが、労働時間は高止まりの状況です。人口減少や少子高齢化に伴う構造的な人手不足の影響もあって人材確保が思うように進まない中、多くの業種で一人当たりの労働負荷が高まっていることが背景にあると考えられます。

2023年6月16日

■ Airシフト／シフトボードについて

『Airシフト』は、やりとりも作成もラクになるシフト管理サービスです。シフト表と一体になったチャットを使ってスタッフとやりとりができるので、シフトの作成と管理はもちろん、急な調整や連絡などもこれひとつで完結します。2018年4月にサービスの提供を開始し、飲食、小売り、サービスなどの幅広い業種で活用が進んでいます。

『Airシフト』さえあれば、スタッフの希望はシフト表に自動反映、書き写しの手間やミスがなくなります。急な出勤依頼や変更調整も、シフト表を見ながらチャットで可能、シフト表にも同時に反映されます。導入したお店からは、「今まで3時間以上かかっていたシフト作成が30分程度になった」「辛かったシフト管理が楽しくなった」「スタッフの定着率が向上した」などの声を頂いています。

さらに、スタッフ用シフト管理アプリ『シフトボード』（2022年11月末時点で累計900万ダウンロード以上）と連携することで、スタッフはいつでもどこでもシフトの提出、確認、連絡が可能。店長だけでなく働くスタッフにも嬉しいサービスです。

私たちは、事業を営む皆さまの「思い描く事業運営や自分らしいお店づくり」を、これからも支援し続けます。

■ 『Airシフト』『シフトボード』プロダクト担当者 沓水 佑樹インタビュー記事

シフト管理のデジタル化に立ち向かう。『Airシフト』が貫く現場主義とは？

https://www.recruit.co.jp/blog/service/20230313_3854.html

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>